

NHK スペシャル 大型シリーズ

「激流中国」

4月1日より 放送スタート!

初回は2夜連続放送

1992年に改革開放を加速させて以来、かつてない激的な成長を果たし、21世紀の経済大国へと名乗りを上げた中国。来年8月の北京五輪開催を控え、“世界の一流国”に向けてまさに奔走してきた。しかし一方ではさまざまな課題も国内に抱え、待ったなしの対応を迫られている。胡錦涛体制は、従来の経済成長一辺倒の政策を見直し、「持続可能な成長」へと大きく舵を切ろうとしており、その行方を世界が固唾を飲んで見守っている。

このシリーズでは、こうした歴史的な政策転換を進める中国国内で何が起きているかを、毎月、ホットなテーマの現場にカメラを入れ、来春まで1年あまりにわたって放送する。

プロローグ 「格差社会」 4月1日(日)

個人資産300億円以上、巨万の富をたった一代で築き上げた会社社長。改革開放の波に乗って、不動産投資などで成功を収め、今も1回に8億の金を株などの投資につぎ込む。富がさらなる富を生み、笑いが止まらない。かたや日雇い労働で手にする金は一日わずか500円ほどの農民。家族を養うために農村から都会に出てきたものの、ようやく見つけることができた仕事は建設現場の厳しい肉体労働。毎日、自分が暮らしていくのが精一杯で、そこからはい上がることはできない。中国では、今、こうした光景は決して珍しくない。社会の中で格差が広がり、勝ち組と負け組の差が鮮明になっている。中国政府は、今、これまで経済成長を最優先してきた結果、生まれた歪みの是正を最優先課題に位置づけ、「調和の取れた社会」「みなぎ豊かになる社会」建設をスローガンに掲げている。

なぜ格差は拡大し続けるのか、貧しい人々がい上がるのが困難になっている理由は何か。激流中国プロローグでは、中国政府が最大のテーマとするこの問題の現場に徹底的に密着し、映像化する。

## 第1回「メディアの実態」

4月2日(月)

来年の北京オリンピックに向け、中国政府がこれまでの情報統制のあり方を見直し始めた。その結果、あくまで国家の宣伝機関と位置づけられ、建国以来、厳しい管理下に置かれてきた中国の国内メディアは、何をどこまで報道できるのかをめぐって、現場で今、様々な議論がわき起こっている。今回、NHKは一つの雑誌社の内部に2ヶ月にわたって入り、その現場に密着した。時事問題を扱う雑誌では中国有数の発行部数を誇るこの雑誌社は、厳しいテーマにも果敢に切り込む姿勢で最近、大きな人気を集めている。そこで私たちが捉えたのは、報道内容の線引きをめぐって行われる、駆け引きとせめぎ合いだった。

中国ではタブーとされてきた困難な問題に挑もうとする若手記者や、農村に隠された驚愕の事実を取り上げようとするベテラン記者、こうした記者たちを取りまとめる立場の経営者。この三者の動きを軸に物語は展開。報道か党の宣伝か - メディアのあり方をめぐって揺れるその姿をつぶさに追った。

### 5月以降の放送予定、テーマについて

5月は「高齢化」

6月は「北京の水事情」 を取り上げる予定です



建設作業現場で働く農民。拡大する格差の現場に密着  
(プロローグ)



変わりつつある中国のメディア状況を伝える  
(第1回)